第 53 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	高ゼミ	チーム名	NETAFULI
タイトル	NETFLIX の台頭と日本のアニメ配信の将来		
テーマ群	e 産業・企業		
メンバー	安斎良彩、伊井星斗、馬木碧大、佐藤祐嘉、三浦惇平、南 歩		
研究計画内容	近年、新型コロナウイルスによる巣ごもりやそのコンテンツの利便性により、動画配信サービスの台頭が顕著である。そのなかでも Netflix は利用者が日本だけでなく、海外でも右肩上がりに増加している。 Netflix は配信登録制のストリーミングサービスで、月額サービスが 4 種類あり、同一世帯で共有することができる。また日本だけでなく世界で 190 か国以上の国が利用している。日本には Netflix のような低価格で利用できるものが少なく、Netflix に代わる配信サービスがない。Netflix は中でも日本の文化であるアニメに対して、自社で多額の資金提供を行い、独自のアニメを制作している。このように、アニメ配信業界において Netflix が右肩上がりに業績を伸ばしていることから今回研究テーマとして取り上げることとした。しかし、日本が生み出したアニメによる利益がこの海外の配信サービス企業に流れるのは日本にとってかなりの損害であり、これからも現在以上の利益が海外へ流れると思われる。 以上のような背景を踏まえ、得られる利益を日本だけで完結することはできないかと考えた。現在日本のアニメをアメリカの Netflix で配信しているという形になっているが日本のアニメを日本の企業が配信するという形を作ることができれば、アニメから得られる利益をすべて日本が手にすることができ、結果として日本の経済に良い影響を与えるのではないかという仮説を立て、調査研究することにした。 私たちは主に二つの側面から研究を進めていく。一つ目に、現在 Netflix でアニメを配信していることで日本のアニメ制作会社にデメリットが存在していないのかということである。その理由として現在 Netflixがアニメを配信しているが、そこでデメリットがあればそこのデメリットを補えるようなサービスを提供する企業が Netflix に代わり日本のアニメを配信することに利点があるからだ。 二つ目に、仮に Netflix でアニメを配信しないという形をとるとして、それに代わりうる日本のアニメ配信会社は現在存在しているのかということを研究する。Netflix でアニメを配信する以上の利益が見込めなければならないため、どの企業なら Netflix でアニメを配信することよりも利益があるのかを多面的に考察する。 (参考文献) 「Netflix」の国別の料金は？世界と比べて日本は高いのか安いのか、アーリーテックス、https://www.earlyteches.com/2020/12/netflix-japan-price-world-2020/、2023 年 10 月 25 日閲覧		